

東海道五十三次を往く

第7回

ついに、東海道随一の難所に到達。石畳の道や関所など、見所あふれる箱根宿をミス編集部が巡りました。

箱根宿

東海道随一の難所 「天下の険」

標高差約800mという険しい山道が続ぎ、東海道一標高が高い箱根宿。当初は宿場がなく、参勤が困難なことから、小田原宿と三島宿から各々集めたという。江戸に最も近い関所を構えるなど、重要な防衛線の役割をもち、本陣も6つと東海道では最大数。名物の「石畳」など、当時の名残が多く楽しめるのは、寄木細工の町・畑宿周辺から。西海子坂、檀木坂と急坂を抜け、さらに進むと、江戸時代から続く甘酒茶屋が。茶屋を過ぎ、旧街道中で最も長い石畳を進むと、芦ノ湖、関所が待ち受ける。

芦ノ湖(箱根町港)

海拔725m、周囲17.5kmの芦ノ湖は、3000年前の火山爆発によって誕生したカルデラ湖。晴れた日は、遠くに富士山が望める。



箱根町立郷土資料館

江戸時代の宿場町の様子や旅道具などが展示され、湯治場から物見遊山、温泉観光地へと発展した箱根の歴史が学べる。立ち寄ると旅も一層楽しく。

☎0460-85-7601
神奈川県足柄下郡箱根町湯本266
🕒9時～16時30分(最終入館16時)
📅水曜・毎月最終月曜(祝日の場合は閉館)
入館料 一般200円

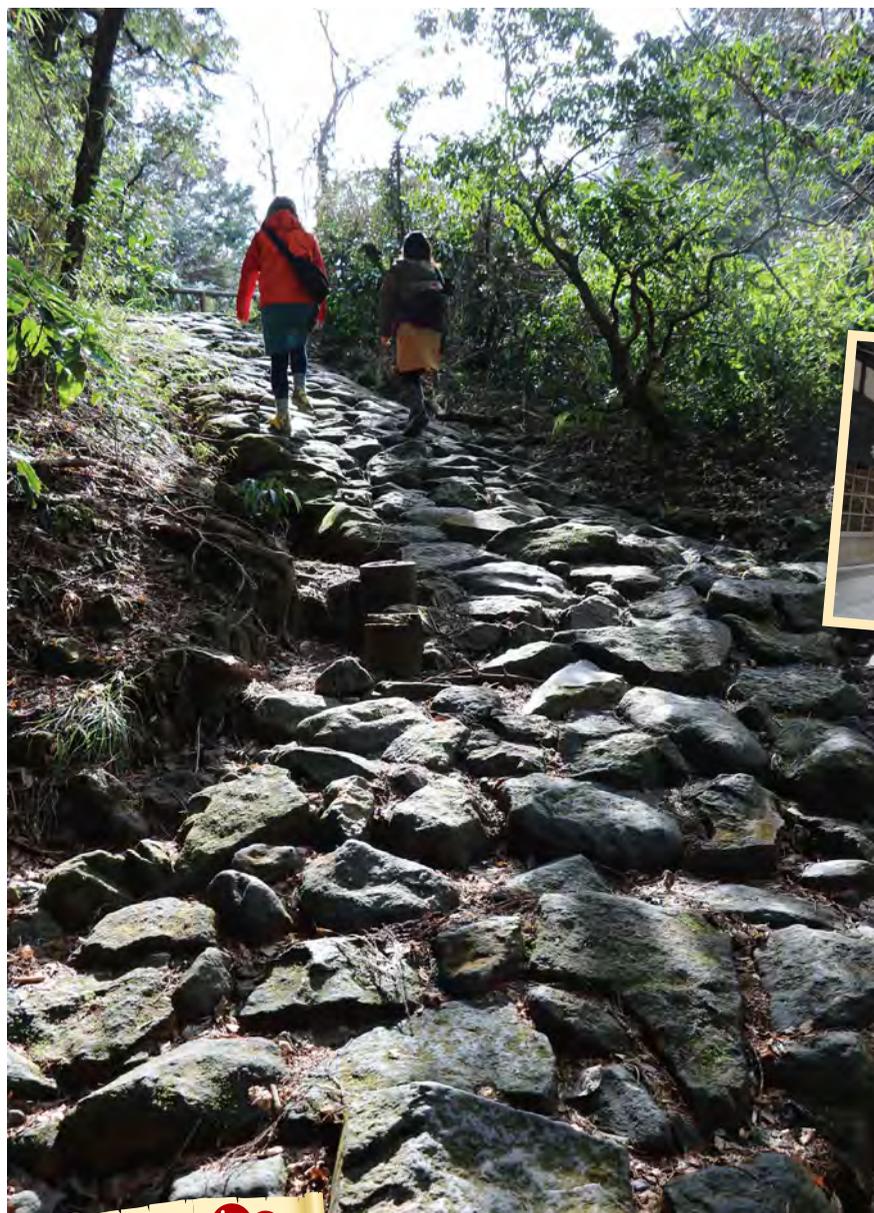


男女双体道祖神・一里塚

湯本茶屋で、仲睦まじい姿の道祖神を発見。村を守り、交通安全を祈る神様だ。その先には、22番目の一里塚跡。日本橋から約90kmやってきたことになる。

次ページへ続く





宿場町を知る②

石畳の役割

雨や雪に降られると、すねまで浸かる泥道を歩かねばならなかったことから、1680年に石畳の道に改修。両縁には大きい直方体の石が道の方向に対して縦に並び、内側には4~5辺をもつ40~50cmの石が隙間なく組み合わさっていることで崩壊を防いでいるという。

畑宿一里塚周辺

日本橋から23番目の塚。畑宿から見て右側の塚には縦(もみ)、左側には横(けやき)が、目印として植えられている。箱根町の中で、唯一昔の姿をとどめる。



宿場町を知る①

箱根八里

小田原宿から箱根宿までの上り四里と、箱根宿から三島宿までの下り四里のことを指す。箱根馬子唄でも「箱根八里は馬でも越すが、越すに越されぬ大井川」と、大井川とともに難所として唄われている。

一夜湯治事件

当時、旅人が宿場以外で宿泊することは禁じられていた。江戸後期、庶民の旅も盛んになり、箱根では温泉場に泊まる旅人も増え、宿場と湯治場との間で論争が勃発。結果は、「一夜湯治」という理由で認められ、これにより、箱根の各温泉場も発展した。

おみやげ

浜松屋

☎0460-85-7044
神奈川県足柄下郡箱根町畑宿138
🕒9時~17時30分 📅無休

箱根の標高差を生かした彩り豊かな木材を寄せ合わせ、カンナで薄く削り小箱などに張る「箱根寄木細工」。寄木細工の創始者、石川仁兵衛から始まり、200余年の歴史をもつ浜松屋では、工房の見学もできる。



秘密箱(10回)
3,600円



湯のみ7,000円

畑宿本陣跡周辺

「箱根細工」の生まれた地として知られる畑宿は、小田原宿と箱根宿に設けられた間の宿として栄えた。本陣は、「茗荷屋」の家号をもつ名主の本屋敷跡。大正元(1912)年に火災で消失したが、庭園はそのまま残った。



食



甘酒400円、力餅「いそべ」「うぐいす」各2個500円



箱根八里間で13軒もあったという甘酒茶屋。当時のまま現存するのはこのみ。名物の甘酒は、昔ながらの製法で米麴と米だけで作り、砂糖なしでも甘く、ノンアルコールで、栄養に富む。

甘酒茶屋

☎0460-83-6418
神奈川県足柄下郡箱根町畑宿二子山395-1
🕒7時~17時30分 📅無休





見晴らし茶屋

晴れた日は相模湾を望む素晴らしい展望。横浜ランドマークタワーや東京スカイツリー、東京タワー、房総までも一望できる。



箱根関所

「出女」を厳しく取り締まっていた関所。明治2(1869)年に廃止され、平成16(2004)年～19(2007)年に復元・公開。大番所、足軽番所など、昔の姿が再現された。

☎0460-83-6635
神奈川県足柄下郡箱根町箱根1
◎9時～17時(最終入館16時30分)
料金/大人 500円



白水坂～元箱根 入り口

箱根旧街道中、石畳が最も長い区間。この付近は当時の石畳の構造が残り、小石と土を敷き詰めた地面の上に石と石が隙間なく並び、縦の排水路をもつ。

食



昨年1月、箱根町港の目の前にオープン。宿場町をイメージした趣ある建物には、芦ノ湖が一望できる和カフェ「cafe KOMON 湖紋」や土産処「箱根百話」、小田原の老舗土産店が並ぶ。

茶屋本陣 畔屋

☎0460-83-6711
神奈川県足柄下郡箱根町箱根161-1 ◎2Fカフェ10時～16時(L.O.15時30分)、1F売店9時30分～17時 ㊿不定休 ※時季により変動あり



湖を眺めながら一息



桜海老としらすの箱根八里井,1,620円

宿場町を知る③



明治期の箱根宿

箱根杉並木

旅人を風雪から守ってきた杉並木。明治以降、芦ノ湖畔のみ伐採されず、さらに太平洋戦争時、杉の供出要請書類を役場の職員が燃やしたため、幸運にも残った。

続く!

